

【中小企業の5G・IoT・ロボット普及促進事業】

中小企業と共創したサービスロボット8種類を 「羽田イノベーションシティ」で展示・実演

地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター(都産技研)は、2022年 4月22日から 4月24日まで、「HANEDA INNOVATION CITY※ (羽田イノベーションシティ)」の「羽田スマートシティEXPO2022春」にて、**都産技研が開発したロボット、中小企業と共同開発したロボット、合計8種類の展示・実演**を行います。

◆展示概要◆

- 期 間 : 2022年 4月22日(金)～2022年 4月24日(日)
※初日11:00～17:00、2日目以降10:00～17:00
- 場 所 : 羽田イノベーションシティ
(京浜急行電鉄・東京モノレール「天空橋駅」)
- 内 容 : 「観光・案内」、「物流・産業」、「警備・点検」、「生活・介護」など、中小企業と共同開発した8種類のサービスロボット等の展示・実演(詳細は別紙参照)



羽田スマートシティEXPO 2021
イベントの様子
(2021年11月 5日～11月 7日)

※HANEDA INNOVATION CITY (略称: HICity (エイチ・アイ・シティ))

「天空橋駅」に直結する大規模複合施設で、羽田みらい開発株式会社と大田区が官民連携で開発した先端テクノロジーと多様な文化を体験できる施設です。これからの生活について考える機会を創出することにより、コロナ後の街や人々の生活をポジティブに変革する新たなイノベーションが生まれ、社会に実装されていくことを目指しています。

◆都産技研の5G・IoT・ロボット開発に関する取り組み◆

都産技研では、商品となるロボットを創り、ロボットを活用した新しいサービスの実現を目指す中小企業を支援するため、2015年度から2019年度にかけて「ロボット産業活性化事業」を実施しました。本事業では、事業化の可能性が高いサービスロボットを開発するため、全国から開発テーマを募集し、中小企業と共同開発することでロボットの製品化を進めました。

2020年度からは「中小企業の5G・IoT・ロボット普及促進事業」を開始し、5Gを利用した新しいIoT機器やサービスロボットの開発など、中小企業のさまざまな製品化・事業化支援に取り組んでいます。

【お問い合わせ】 地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター

ロボット技術グループ 武田 有志 TEL 03-5530-2706 FAX 03-5530-2400
企画部経営企画室 大久保 一宏 TEL 03-5530-2521 FAX 03-5530-2536

<https://www.iri-tokyo.jp/>

配布担当 東京都立産業技術研究センター 企画部 経営企画室 広報係 TEL 03-5530-2521



【展示・実演を予定しているロボット】

No.	分野	展示名	参加企業名	実施内容
1	観光・案内	遠隔観光ショッピングシステム「iTOUR」	iPresence	分身ロボットが、離れた場所からの観光やショッピングを手助けします。
2	観光・案内	自走式案内ロボット「新型Libra」	都産技研	HICityの店舗・施設を音声で紹介し、展示物を先導してご案内します。
3	生活・介護	ロボティックウェア「curara®」	Assist Motion	脚に簡単に装着、モータの力で歩行が困難な方を優しくサポートします。
4	生活・介護	見守り服薬支援ロボット「FUKU助」	メディカルスイッチ	お薬の飲み間違いや飲み忘れを防ぎ、ご家族の健康を守ります。
5	生活・介護	先生ロボット「ユニボ先生」	ソリューションゲート	進み具合によって褒めたり励ましたり、学習を楽しくサポートします。
6	物流・産業	協働ロボットの遠隔制御	ウイングロボティクス	協働ロボットの遠隔制御および遠隔教示システムをご紹介します。
7	物流・産業	追従・自走式搬送ロボット「MiniTaurus」	都産技研	追従と自走を切り替えて、ホテルロビーでの荷物運びをお手伝いします。
8	警備・点検	巡回点検「BEPサーベイランス」	ブルーイノベーション	様々なセンサー搭載の自走式ロボットが、施設の点検作業を自動化します。

※展示名・実施内容は、変更となる場合があります。

【1】



【2】



【3】



【4】



【5】



【6】



【7】



【8】



<https://www.iri-tokyo.jp/>

